



平成29年3月期 決算短信 (IFRS) (連結)

平成29年4月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 吉田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

定時株主総会開催予定日 平成29年6月27日

配当支払開始予定日

平成29年6月2日

有価証券報告書提出予定日 平成29年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期の連結業績 (平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	155,916	3.8	13,905	10.4	15,022	27.7	14,201	112.1	14,201	112.1	16,144	
28年3月期	162,111	1.0	12,597	25.3	11,767	43.3	6,694	60.0	6,694	60.0	4,732	

	基本的1株当たり当期利益	希薄化後1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計税引前利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
29年3月期	81.07	73.95	14.0	6.8	8.9
28年3月期	38.35	35.38	6.9	5.3	7.8

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期	231,603	109,517	109,517	47.3	619.33
28年3月期	210,451	93,619	93,619	44.5	536.28

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期	15,833	3,521	1,002	95,324
28年3月期	7,728	2,395	13,531	85,430

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	親会社所有者帰属持分配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
28年3月期		10.00		10.00	20.00	3,491	52.2	3.6
29年3月期		13.00		12.00	25.00	4,399	30.8	4.3
30年3月期(予想)								

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	172,000	10.3	18,000	29.4	18,180	21.0	15,000	5.6	15,000	5.6

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
 IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期	199,566,770 株	28年3月期	199,566,770 株
期末自己株式数	29年3月期	22,736,166 株	28年3月期	24,994,162 株
期中平均株式数	29年3月期	175,180,404 株	28年3月期	174,569,193 株

(参考)個別業績の概要

平成29年3月期の個別業績(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期	143,559	16.1	4,607		9,851	68.3	15,238	115.5
28年3月期	123,642	45.6	6,818		5,853	52.4	7,069	44.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期	86.98	78.49
28年3月期	40.50	36.52

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
29年3月期	270,123		130,031		47.6	727.40		
28年3月期	247,307		114,662		45.7	647.20		

(参考) 自己資本 29年3月期 128,627百万円 28年3月期 112,984百万円

決算短信は監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況.....	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況.....	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況.....	P. 4
(4) 今後の見通し.....	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方.....	P. 4
3. 連結財務諸表および主な注記.....	P. 5
(1) 連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 連結損益計算書および連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 連結持分変動計算書.....	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 11
(継続企業の前提に関する注記).....	P. 11
(セグメント情報).....	P. 11
(1株当たり情報).....	P. 12
(重要な後発事象).....	P. 12
役員の異動.....	P. 13
2016年度決算(連結)の概要.....	P. 16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期 (2016年4月1日～2017年3月31日) の状況 (単位: 億円)

	2016年3月期	2017年3月期	前期比
受注高	1,515	1,647	8.7%
売上高	1,621	1,559	△3.8%
営業利益	126	139	10.4%
税引前利益	118	150	27.7%
当期利益	67	142	112.1%

当連結会計年度における世界経済は、堅調な米国経済などに支えられ、全体として回復基調が続きました。

半導体関連市場においては、スマートフォンの高機能化と販売台数拡大、自動車の電装化の進展、データセンター関連の部品需要の伸びなどが牽引役となりました。その結果、2015年はマイナス成長だった半導体市場は、2016年はプラス成長に回復しました。この流れに沿って、ロジック半導体をはじめとする非メモリ半導体では、スマートフォン向けの設備投資が進んだほか、先端製造プロセスの構築に向けた設備投資も堅調でした。メモリ半導体では、夏場以降、データセンター向けやスマートフォン向けの需要を背景にメモリ市況が改善したことで、メモリ半導体メーカーの設備投資が下期に加速しました。

また、当連結会計年度の平均為替レートは、米ドルが108円(前期121円)、ユーロが119円(前期133円)と、前期より円高で推移しました。

このような事業環境のもと、当社は、顧客の投資意欲が大きく改善したメモリ半導体関連の新規需要獲得を中心に、業績向上に向け取り組みました。その結果、受注高は1,647億円(前期比8.7%増)と、円高による減収影響を受けながらも前期を上回る実績を収めることができました。売上高は、1,559億円(同3.8%減)となりました。前期比減収となったものの、採算性の良い製品の売上高比率が前期比上昇したことで、営業利益は139億円(同10.4%増)、税引前利益は150億円(同27.7%増)、当期利益は142億円(同112.1%増)となりました。海外売上比率は88.2%(前期92.0%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門> (単位: 億円)

	2016年3月期	2017年3月期	前期比
受注高	948	1,062	12.1%
売上高	1,008	1,013	0.5%
セグメント利益	105	167	58.4%

当部門では、非メモリ半導体用テストシステム事業は、スマートフォン向けの半導体増産の動きを背景に、第3四半期まで堅調に推移しました。しかし第4四半期に入ってから、モバイル機器の在庫調整の影響からテストシステムの需要が伸び悩み、売上高は前期を若干下回りました。メモリ半導体用テストシステム事業は、期初は顧客の投資が伸びませんでした。夏場以降に事業環境が好転し、下期だけで前年度の実績を超える受注高を獲得するなど、好調に推移しました。

以上により、当部門の受注高は1,062億円(前期比12.1%増)、売上高は1,013億円(同0.5%増)、セグメント利益は167億円(同58.4%増)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2016年3月期	2017年3月期	前期比
受注高	273	269	△1.6%
売上高	315	252	△20.0%
セグメント利益	26	△15	—

当部門では、フォトマスク検査装置の新規需要が落ち込んだことで、ナノテクノロジー事業が通年振るいませんでした。デバイス・インタフェース事業も、受注高は前期を上回りましたが、期初のDRA M半導体の投資抑制の影響により売上高は前期を下回りました。

以上により、当部門の受注高は269億円(前期比1.6%減)、売上高は252億円(同20.0%減)、セグメント損失は15億円(同41億円悪化)となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2016年3月期	2017年3月期	前期比
受注高	294	315	7.4%
売上高	299	295	△1.4%
セグメント利益	49	48	△2.6%

当部門では、半導体メーカー各社の生産ラインの活況を背景に、フィールドサービスに対する需要が堅調でした。しかしながら、円高による収益押し下げの影響を受けました。

以上により、当部門の受注高は315億円(前期比7.4%増)、売上高は295億円(同1.4%減)、セグメント利益は48億円(同2.6%減)となりました。

② 個別業績の概況

前事業年度より一部製品の商流について海外の連結子会社から当社への集約を進めて参りました。

この商流変更が当事業年度に完了し、売上高は前期比16.1%増加の1,436億円、営業利益は46億円の黒字に転換致しました。連結子会社からの受取配当金により経常利益は前期比68.3%増加の99億円となりました。将来の税金費用の減額効果을適正に見込み繰延税金資産を計上した結果、当期純利益は前期比115.5%増加の152億円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当期末の総資産は、前期末比212億円増加し、2,316億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物が99億円、棚卸資産が52億円、営業債権およびその他の債権が44億円それぞれ増加したことなどによります。負債合計は、営業債務およびその他の債務が64億円増加したことなどにより、前期末比53億円増加し、1,221億円となりました。また、資本合計は1,095億円となり、親会社所有者帰属持分比率は2.8ポイント増加し、47.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金および現金同等物は、前期末より99億円増加し、953億円となりました。

当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前利益150億円を計上したことに加え、営業債務およびその他の債務の増加(64億円)、棚卸資産の増加(△53億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、158億円の収入(前期は、77億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、35億円の支出(前期は、24億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得(△40億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億円の支出(前期は、135億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払(△40億円)および自己株式の処分(31億円)によるものであります。

(4) 今後の見通し

高速通信網の拡充、スマートフォンの世界的な普及や性能の進化、自動車の先進運転支援システムの採用拡大など、より快適・安全な社会の実現を目指す流れが今後の半導体市場およびその関連市場の成長を主導すると想定しています。

当社が主たる収益基盤を置く半導体試験装置市場の先行きを展望しますと、足元で発生しているモバイル機器の在庫調整の影響などにより、非メモリ半導体用テストシステムに対する新規投資は前期比減少する見通しです。一方で、より高速・大容量なDRAM半導体やNAND型フラッシュメモリの一層の生産拡大が見込まれることを背景に、メモリ半導体用テストシステムについては旺盛な需要を予想しています。

このような見通しのもと、当社は、半導体試験装置市場におけるシェアの伸長、半導体試験装置周辺事業の強化、コストの引き締めなどを通じた収益改善に、今後も取り組んでまいります。

通期連結業績予想については、各事業の今後の見通しと直近の為替の状況を踏まえ、売上高1,720億円、営業利益180億円、税引前利益182億円、当期利益150億円を予想しています。予想の前提とした為替レートは、米ドルが110円、ユーロが120円です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、資本市場における財務情報の国際的比較可能性の向上ならびに、グループ会社の財務情報の均質化、効率化を図るため、2016年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用しております。

3. 連結財務諸表および主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当連結会計年度 (2017年3月31日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	85,430	95,324
営業債権およびその他の債権	28,005	32,451
棚卸資産	33,912	39,093
その他の流動資産	3,049	2,976
(小計)	150,396	169,844
売却目的で保有する資産	-	1,295
流動資産合計	150,396	171,139
非流動資産		
有形固定資産	31,451	29,915
のれんおよび無形資産	16,726	16,479
その他の金融資産	3,542	3,625
繰延税金資産	8,038	10,282
その他の非流動資産	298	163
非流動資産合計	60,055	60,464
資産合計	210,451	231,603

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当連結会計年度 (2017年3月31日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	22,101	28,489
社債	-	15,000
未払法人所得税	1,548	1,927
引当金	1,709	1,643
その他の金融負債	487	626
その他の流動負債	3,589	3,749
流動負債合計	29,434	51,434
非流動負債		
社債	44,618	29,745
その他の金融負債	65	39
退職給付に係る負債	41,076	38,865
繰延税金負債	358	420
その他の非流動負債	1,281	1,583
非流動負債合計	87,398	70,652
負債合計	116,832	122,086
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,478	44,319
自己株式	△ 94,585	△ 86,039
利益剰余金	105,190	113,676
その他の資本の構成要素	6,173	5,198
親会社の所有者に帰属する持分合計	93,619	109,517
資本合計	93,619	109,517
負債および資本合計	210,451	231,603

(2) 連結損益計算書および連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
売上高	162,111	155,916
売上原価	△ 70,636	△ 66,176
売上総利益	91,475	89,740
販売費および一般管理費	△ 79,109	△ 76,174
その他の収益	630	501
その他の費用	△ 399	△ 162
営業利益	12,597	13,905
金融収益	475	1,344
金融費用	△ 1,305	△ 227
税引前利益	11,767	15,022
法人所得税費用	△ 5,073	△ 821
当期利益	6,694	14,201
当期利益の帰属		
親会社の所有者	6,694	14,201
1株当たり当期利益		
基本的	38.35円	81.07円
希薄化後	35.38円	73.95円

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
当期利益	6,694	14,201
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△ 4,869	2,918
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 6,002	△ 1,381
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△ 555	406
税引後その他の包括利益	△ 11,426	1,943
当期包括利益	△ 4,732	16,144
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△ 4,732	16,144

(3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2015年4月1日 残高	32,363	44,487	△94,686	106,916	12,730	101,810	101,810
当期利益				6,694		6,694	6,694
その他の包括利益					△11,426	△11,426	△11,426
当期包括利益	—	—	—	6,694	△11,426	△4,732	△4,732
自己株式の取得			△1			△1	△1
自己株式の処分		△9	102	△60		33	33
配当金				△3,491		△3,491	△3,491
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△4,869	4,869	—	—
所有者との取引額等合計	—	△9	101	△8,420	4,869	△3,459	△3,459
2016年3月31日 残高	32,363	44,478	△94,585	105,190	6,173	93,619	93,619
当期利益				14,201		14,201	14,201
その他の包括利益					1,943	1,943	1,943
当期包括利益	—	—	—	14,201	1,943	16,144	16,144
自己株式の取得			△2			△2	△2
自己株式の処分		△868	8,548	△4,611		3,069	3,069
配当金				△4,022		△4,022	△4,022
株式に基づく報酬取引		682				682	682
その他		27				27	27
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				2,918	△2,918	—	—
所有者との取引額等合計	—	△159	8,546	△5,715	△2,918	△246	△246
2017年3月31日 残高	32,363	44,319	△86,039	113,676	5,198	109,517	109,517

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計期間 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	当連結会計期間 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	11,767	15,022
減価償却費および償却費	4,965	5,158
株式報酬費用	-	682
売却可能金融資産売却益	△ 174	△ 250
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	△ 2,726	△ 4,618
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,621	△ 5,268
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△ 6,784	6,403
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	189	△ 67
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	864	1,491
その他	△ 152	△ 36
小計	11,570	18,517
利息および配当金の受取額	303	267
利息の支払額	△ 117	△ 95
法人所得税の支払額	△ 4,028	△ 2,856
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	7,728	15,833
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能金融資産の売却による収入	503	653
有形固定資産の売却による収入	509	190
有形固定資産の取得による支出	△ 3,116	△ 4,018
無形資産の取得による支出	△ 449	△ 391
その他	158	45
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 2,395	△ 3,521
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	33	3,063
社債の償還による支出	△ 10,000	-
配当金の支払額	△ 3,488	△ 4,016
その他	△ 76	△ 49
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 13,531	△ 1,002
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 3,946	△ 1,416
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△ 12,144	9,894
現金および現金同等物の期首残高	97,574	85,430
現金および現金同等物の期末残高	85,430	95,324

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 事業別セグメント情報

前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)

(単位: 百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	100,706	31,482	29,923	—	162,111
セグメント間の売上高	56	—	—	△ 56	—
合計	100,762	31,482	29,923	△ 56	162,111
セグメント利益 (調整前営業利益)	10,514	2,599	4,944	△ 5,460	12,597
(調整) ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	12,597
金融収益	—	—	—	—	475
金融費用	—	—	—	—	△ 1,305
税引前利益	—	—	—	—	11,767

当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位: 百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	101,262	25,158	29,496	—	155,916
セグメント間の売上高	4	34	—	△ 38	—
合計	101,266	25,192	29,496	△ 38	155,916
セグメント利益 (調整前営業利益)	16,652	△ 1,529	4,817	△ 5,353	14,587
(調整) ストック・オプション費用	—	—	—	—	△ 682
営業利益	—	—	—	—	13,905
金融収益	—	—	—	—	1,344
金融費用	—	—	—	—	△ 227
税引前利益	—	—	—	—	15,022

- (注) 1. 当社グループは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 報告セグメントの利益は、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をベースとしております。
3. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
4. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. 地域別売上高

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
日本	12,979	18,443
米州	29,551	14,840
欧州	6,181	8,510
アジア	113,400	114,123
合計	162,111	155,916

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は顧客の所在地に基づいております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 米州……………米国、カナダ等

(2) 欧州……………ドイツ、イスラエル等

(3) アジア……………台湾、韓国、中国、シンガポール等

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益および希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	6,694	14,201
親会社の普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	6,694	14,201
転換社債型新株予約権付社債の希薄化の影響 (百万円)	126	127
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	6,820	14,328
基本的平均発行済株式数 (株)	174,569,193	175,180,404
ストック・オプションの希薄化の影響 (株)	61,173	368,002
転換社債型新株予約権付社債の希薄化の影響 (株)	18,126,888	18,213,830
希薄化後平均発行済株式数 (株)	192,757,254	193,762,236
基本的1株当たり当期利益 (円)	38.35	81.07
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	35.38	73.95

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

役員の変動（2017年6月27日付予定）

1. 取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者

取締役		吉田 芳明
取締役		唐津 修
取締役		吉川 誠一
取締役		明 世範
取締役	(新任)	Hans-Juergen Wagner
取締役	(新任)	塚越 聡一

(注) 2017年6月27日開催の第75回定時株主総会終了後に行われる臨時取締役会において、吉田芳明は代表取締役に就任予定。

2. 監査等委員である取締役候補者

監査等委員である取締役		栗田 優一
監査等委員である取締役		山室 恵
監査等委員である取締役		萩尾 保繁

3. 補欠の監査等委員である取締役候補者

補欠の監査等委員である取締役	唐津 修
----------------	------

4. 執行役員候補者

執行役員社長		吉田 芳明
執行役員副社長	(昇任)	明 世範
常務執行役員		Hans-Juergen Wagner
常務執行役員		塚越 聡一
常務執行役員		南雲 悟
常務執行役員		津久井 幸一
常務執行役員	(昇任)	Keith Hardwick
常務執行役員	(昇任)	Douglas Lefever
常務執行役員	(昇任)	加藤 俊介
常務執行役員	(昇任)	藤田 敦司
執行役員		岡安 俊幸
執行役員		CH Wu
執行役員		山下 和宏
執行役員		山田 益弘
執行役員		佐々木 功
執行役員		阪本 公哉
執行役員		徐 勇
執行役員	(新任)	Michael Stichlmair
執行役員	(新任)	Juergen Serrer
執行役員	(新任)	後藤 敏雄
執行役員	(新任)	李 震熙
執行役員	(新任)	Suan Seng Sim (Ricky Sim)
執行役員	(新任)	三橋 靖夫

5. 退任者

取締役	黒江 真一郎	(相談役に就任予定)
取締役	中村 弘志	(顧問に就任予定)
執行役員	杉浦 孝	(顧問に就任予定)
執行役員	関野 隆	(顧問に就任予定)
執行役員	Josef Schraetzenstaller	(Advantest Europe GmbH Advisor に就任予定)
執行役員	Wilhelm Radermacher	(Advantest Europe GmbH Advisor に就任予定)

新任取締役候補者 (略歴)

ハンス ユルゲン ヴァーグナー

Hans-Juergen Wagner (1960年1月19日生)

1984年12月	Technical University in Stuttgart,	Master's degree in Engineering 修了
1985年 1月	Hewlett-Packard GmbH	入社
2006年 6月	Verigy Germany GmbH,	Vice President
2011年 7月	当社	執行役員 Verigy Ltd. Executive Vice President, SoC Products
2011年10月	Verigy Ltd.	Chairman of the Board, President and CEO
2012年 4月	Advantest Europe GmbH	Managing Director (R&D,CTO) (現任)
2012年 8月	当社	SoC Test Business Groups 担当 (現任)
2013年 6月	当社	常務執行役員 (現任)

ツカシ ヲウイチ

塚越 聡一 (1960年2月1日生)

1983年 3月	東京電機大学 理工学部	経営工学科 卒
1983年 4月	当社	入社
2008年 4月	営業本部	販売戦略統括部 統括部長
2008年 6月	執行役員	
	営業本部	副本部長
2010年 1月	営業本部	ドメスティックアカウントセールスイニシアティブ リーダー
	営業本部	第1販売統括部 統括部長
2012年 6月	生産本部	副本部長
2013年 6月	生産本部	本部長 (現任)
2015年 6月	当社	常務執行役員 (現任)

新任執行役員候補者 (略歴)

ミハエル スティルマイヤー

Michael Stichlmair (1963年3月8日生)

1987年10月	Munich University of Applied Sciences,	Engineer in Physical Technology 卒
1989年 7月	Advantest Europe GmbH	入社
2004年 5月	Advantest Europe GmbH	Director, Sales and Marketing
2009年 9月	Advantest Europe GmbH	Vice President, Chief Marketing Officer (現任)

ユルゲン セラー

Juergen Serrer (1965年12月20日生)

1990年 9月 Fachhochschule Furtwangen, Diploma Computer Engineering 卒
1991年 1月 Hewlett-Packard GmbH 入社
2005年 2月 Agilent Technologies, Vice President High Speed Memory & Digital Test
2013年 2月 Advantest Europe GmbH, Vice President and General Manager for PAC Business for V93000
2016年 4月 Advantest Europe GmbH, Vice President and General Manager for PAC Business and Strategic Planning for V93000
2016年11月 Advantest Europe GmbH, Vice President and General Manager for V93000 (現任)

ゴトウ トシ

後藤 敏雄 (1961年7月14日生)

1985年 3月 群馬大学 工学部 機械工学科 卒
1985年 4月 当社 入社
2010年 7月 生産本部 製造統括部 第1製造部 部長
2011年 6月 生産本部 製造統括部 統括部長
2013年 6月 DI事業部 事業部長 (現任)

リー ジンヒ

李 震熙 (1962年12月31日生)

1989年 3月 Kwangwoon University, Bachelor of Electronic Engineering 卒
2000年11月 Advantest Korea Co., Ltd. 入社
2003年 4月 Advantest Korea Co., Ltd. SE General Manager
2012年 5月 Advantest Korea Co., Ltd. Sales General Manager
2013年 6月 Advantest Korea Co., Ltd. 理事
2015年 6月 Advantest Korea Co., Ltd. 代表理事社長 (現任)

スン セン シム リッキー シム

Suan Seng Sim [Ricky Sim] (1965年5月27日生)

1990年 4月 National University of Singapore, Bachelor of Electronic Engineering 卒
1994年 9月 Hewlett-Packard Singapore Pte. Ltd. 入社
2013年 6月 Advantest (Singapore) Pte. Ltd. Vice President, Sales and Support
2016年 6月 Advantest (Singapore) Pte. Ltd. Managing Director (CEO) (現任)

ミン ヤスオ

三橋 靖夫 (1965年11月10日生)

1991年 3月 神奈川工科大学 工学部 機械学科 卒
1991年 4月 当社 入社
2009年 6月 営業本部 第2販売統括部 第3販売部 部長
2013年 6月 営業本部 第2販売統括部 統括部長
2014年 6月 営業本部 第1販売統括部 統括部長
2016年12月 営業本部 Marketing and Business Development 統括部 統括部長 (現任)

以 上

2016年度 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2015年度 実績	2016年度実績				前年度比	2017年度業績予想			
		1Q	2Q	3Q	4Q		通期	前年度比		
受注高	1,515	438	285	440	484	(1,600) 1,647	132	8.7%	1,750	6.3%
受注残	335	365	295	422	422	(355) 422	88	26.2%	452	7.1%

(注)上段()の数値は、2017年1月26日発表時の予想であります。

2. 損益

(単位:億円)

	2015年度 実績	2016年度実績				前年度比	2017年度業績予想			
		1Q	2Q	3Q	4Q		通期	前年度比		
売上高	1,621	407	355	314	483	(1,580) 1,559	Δ 62	Δ 3.8%	1,720	10.3%
売上原価	Δ 706	Δ 154	Δ 145	Δ 133	Δ 230	Δ 662	45	Δ 6.3%	-	-
販売費および一般管理費	Δ 791	Δ 196	Δ 185	Δ 172	Δ 208	Δ 761	29	Δ 3.7%	-	-
その他の収益	6	1	1	1	2	5	Δ 1	Δ 20.5%	-	-
その他の費用	Δ 4	Δ 1	Δ 0	Δ 0	Δ 1	Δ 2	2	Δ 59.4%	-	-
営業利益 (売上高比率)	126 (7.8%)	57 (14.1%)	26 (7.3%)	10 (3.1%)	46 (9.5%)	139 (8.9%)	13	10.4%	180 (10.5%)	29.4%
金融収益・金融費用	Δ 8	5	3	Δ 4	7	11	19	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	118 (7.3%)	62 (15.2%)	29 (8.3%)	6 (2.0%)	53 (10.9%)	150 (9.6%)	33	27.7%	182 (10.6%)	21.0%
法人所得税費用	Δ 51	Δ 12	Δ 6	Δ 5	15	Δ 8	43	Δ 83.8%	-	-
当期利益 (売上高比率)	67 (4.1%)	50 (12.2%)	23 (6.4%)	1 (0.4%)	68 (14.1%)	142 (9.1%)	75	112.1%	150 (8.7%)	5.6%

(注)上段()の数値は、2017年1月26日発表時の予想であります。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2015年度 実績	2016年度実績				前年度末比
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	
総資産	2,105	2,057	2,070	2,206	2,316	10.1%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	936	878	898	1,006	1,095	17.0%
親会社所有者帰属持分比率	44.5%	42.7%	43.4%	45.6%	47.3%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2016年度			2017年度予想		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末	年間
1株当たり配当金	13.00	12.00 (10.00)	25.00 (23.00)	未定	未定	未定

(注)1. 上段()の数値は、2017年1月26日発表時の予想であります。

2. 現時点では次期の配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。